



慶應義塾大学ビジネス・スクール

ニュートン・パーツ・インダストリー

5

ニュートン・パーツ・インダストリー (Newton Parts Industries 略称 NPI) はアメリカの自動車部品会社として長い歴史を持つゲイト・インダストリー・インターナショナル (Gate Industries International 略称 GII) と日本の自動車部品メーカー ダイアモンド・プラスチック株式会社 (略称 DPC 本社所在地 宮崎県) との間で設立された合弁会社 (本社米国) で、自動車用プラスチック部品を製造している。主な顧客は日本のスター自動車の北米工場であるが、同じく日系のアジアモーターの北米工場にも少量ではあるが供給している。

10

NPI の創立は 1988 年、従業員 300 人、2008 年の売上高は約 6,000 万ドルであったが、2009 年はアメリカ経済の不況から来る自動車の売上減少の影響を受けて 4,800 万ドルとなり、前年比 20% のダウンとなった。

15

GII は 1988 年頃から日本の自動車メーカーが現地調達率を上げる傾向にあることを察知し、従来のデトロイト・ビッグ 3 との取引に加え日系自動車メーカーとの取引を開始したいとセールス活動を強めた。だが、なかなか取引開始には至らず、日系自動車メーカーと日本での取引実績がある DPC と組むことで突破口を開こうという思惑があった。

20

一方 DPC 側は、日本市場での既存顧客でアメリカに進出したスター自動車から北米での現地部品生産・供給をするように要請されていたが、単独で進出するには北米での経営ノウハウもなく、資本力も不足していたので、GII との合弁を歓迎していたといういきさつがある。

25

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究教授 網野俊賢がクラス討議用の教材として作成した。経営の巧拙を論じるものではない。社名や一部データなどは偽装されている。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール (〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法 (電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない) による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 網野俊賢 (2010 年 2 月作成)